

天皇陛下御即位記念



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

いきいき茨城ゆめ国体では、本市内在住、在勤、出身の皆さんも各出場競技で素晴らしい成績を収め、本県の天皇杯および皇后杯獲得に大きく貢献されました。

成年の部 正 正式競技 公 公開競技

(敬称略)

出場競技	区分	氏名	競技内容
正 ボウリング 団体第3位	選手	池田 智美 (本市在勤)	正三角形に並べられた10本のピンをめぐってボールを転がし、倒れたピンの数を競います。 国体では、個人戦と団体戦(2人チーム)は6ゲーム、団体戦(4人チーム)は3ゲームの予選を行い、合計点の上位8チームが決勝に進出し、決勝3ゲームを含めた総得点により順位が決定します。
正 なぎなた 総合優勝	監督	石川 郁子 (本市在住)	試合競技 防具を身に着け、竹と檜の木でつくられた長さ220cmほどの「なぎなた」で、相手の定められた部位(面・小手・胴・咽喉・脛)を確実に早く打突して勝負を競います。 演技競技 防具を着けず、8本ある「しかけ・応じ」の中から指定された3本の形を二人一組で行い、その技の優劣を競います。
正 軟式野球 第2位	選手 監督	高崎 雄太 (本市在勤) 渡辺 敏崇 (本市出身)	ゴムのボールを使うことを除いて、硬式野球と同じルールで行われます。 試合は9イニングまで行い、9イニングを終えて同点の場合は、勝負がつくまで1イニングごとの延長戦を行います。試合開始後、3時間を経過した場合は、通常の延長戦に代わって次イニングより引き続きタイブレーク方式により行います。
正 ライフル射撃	選手	戸井田 有史 (本市出身)	ライフル銃やピストルを使用し、10m~50m先にある固定された標的に対し、制限時間内に決められた姿勢(立射、伏射、膝射)で決められた弾数を打ち得点を競います。 50mライフル、10mエア・ライフル、エア・ピストル、ビーム・ライフル、センター・ファイア・ピストルといった種目があります。
公 パワーリフティング 第2位	選手	飛田 渉 (本市出身)	スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目のトータル重量で順位を決定します。 スクワットは、バーベルを肩に担ぎ、しゃがんでから立ち上がります。ベンチプレスは、ベンチ台に仰向けになり、胸の上でバーベルを持ち上げます。デッドリフトは、床に置かれたバーベルを垂直に引き上げ、足と背中が伸びるまで持ち上げます。

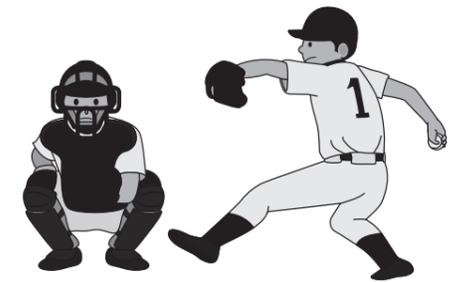
少年の部 正 正式競技 公 公開競技

(敬称略)

出場競技	区分	氏名	競技内容
正 バスケットボール	選手	木村 花 (本市出身)	1チーム5人の選手がパスやドリブルをしながらボールを進め、相手のバスケットゴールにシュートをして得点を競います。得点は、スリーポイントラインの外側からのシュートが3点、内側からのシュートが2点、フリースローが1点となります。 10分間を1ピリオドとして4ピリオド行い、第4ピリオドを終えて同点の場合、1回5分の延長戦を勝敗が決定するまで行います。
正 ビーチバレーボール 第3位	選手	舟木 亮太 (本市出身)	ビーチなどの砂地で行う、1チーム2人の選手で対戦するバレーボール競技です。 16m×8mと室内のバレーボールより小さいコートを用い、1セット21点先取(3セット目は15点先取)する3セットマッチで行われます。選手はレシーブやパス、トス、サーブなどあらゆるスキルが要求されます。 オリンピックの正式種目であり、かつ高い観客動員数を誇る競技です。



▲ボウリング池田智美選手



▲軟式野球の皆さん